

生駒郡地域ケア会議

令和6年度

生駒郡地域ケア会議活動状況報告

目次

1. はじめに	・・・ 1
2. 生駒郡地域ケア会議の役割	・・・ 2
3. 在宅医療介護連携事業の構成と課題	・・・ 3
4. 令和6年度の生駒郡地域ケア会議事業報告	・・・ 5
①地域ケア会議の実施	・・・ 5
②多職種勉強会の開催	・・・ 5
③市民公開講座の開催	・・・ 9
④在宅医療介護資源集	・・・ 11
⑤生駒郡医療と介護連絡シート	・・・ 12
5. 令和7年度生駒郡地域ケア会議事業計画(案)	・・・ 13

参考資料

1. 令和6年度の生駒郡地域ケア会議事業報告	・・・ 14
2. 令和6年度生駒郡地域ケア会議委員名簿	・・・ 15

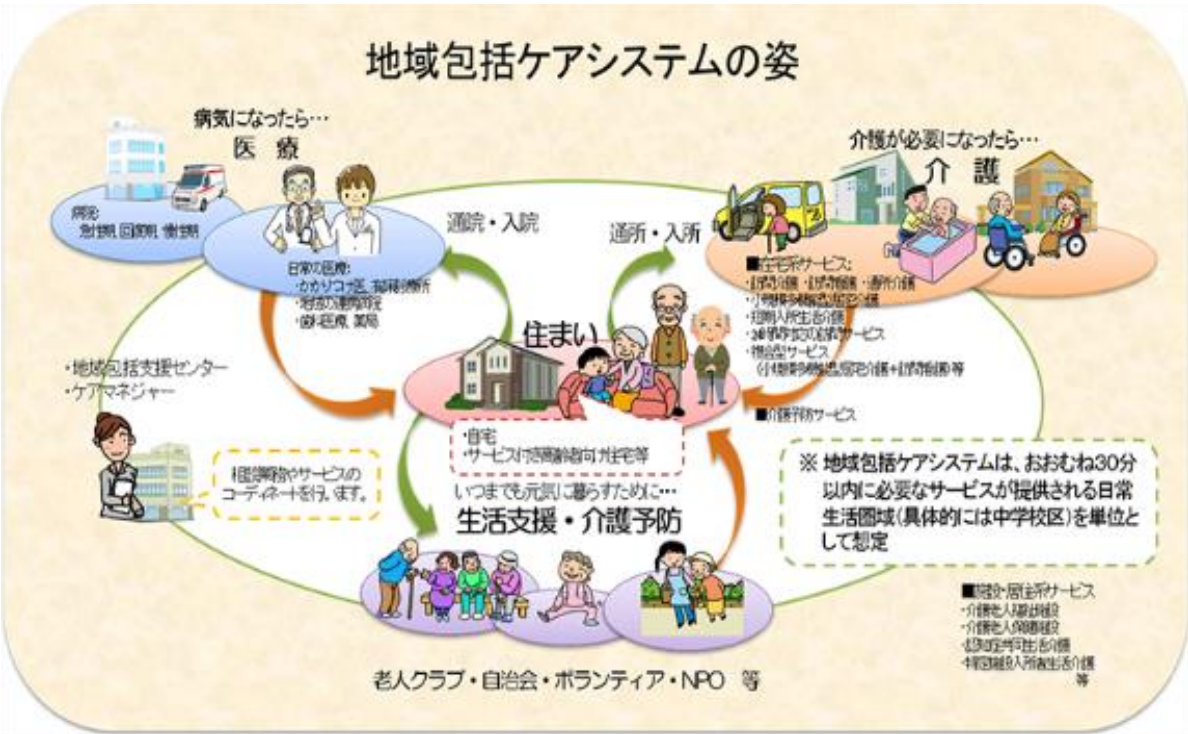
1. はじめに

生駒郡における高齢化率は、伸び続けており、2025年の高齢化率は、平群町で39.0%、三郷町で31.4%、斑鳩町で30.8%、安堵町で36.6%（令和7年1月現在）です。医療や介護が必要となる確率が高いと言われている後期高齢者の増加は著しく、今後ますます医療や介護が必要となる方の増加が考えられます。

また、団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」から更に、団塊ジュニアが後期高齢者になる2040年問題を踏まえ、人生の最後まで、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが継続できるよう、「医療・介護・予防・住まい・生活支援」が包括的に確保される地域包括ケアシステムの深化がより一層求められているところです。

このような状況下、生駒郡では各町単位だけでなく、郡内で医療介護サービスを格差なく、効率的にサポートするため、平成27年から生駒郡4町と生駒地区医師会において協定を結び、生駒郡4町内の医療・介護に携わる関係者で構成する「生駒郡地域ケア会議」を立ち上げ、様々な取組みを行っています。

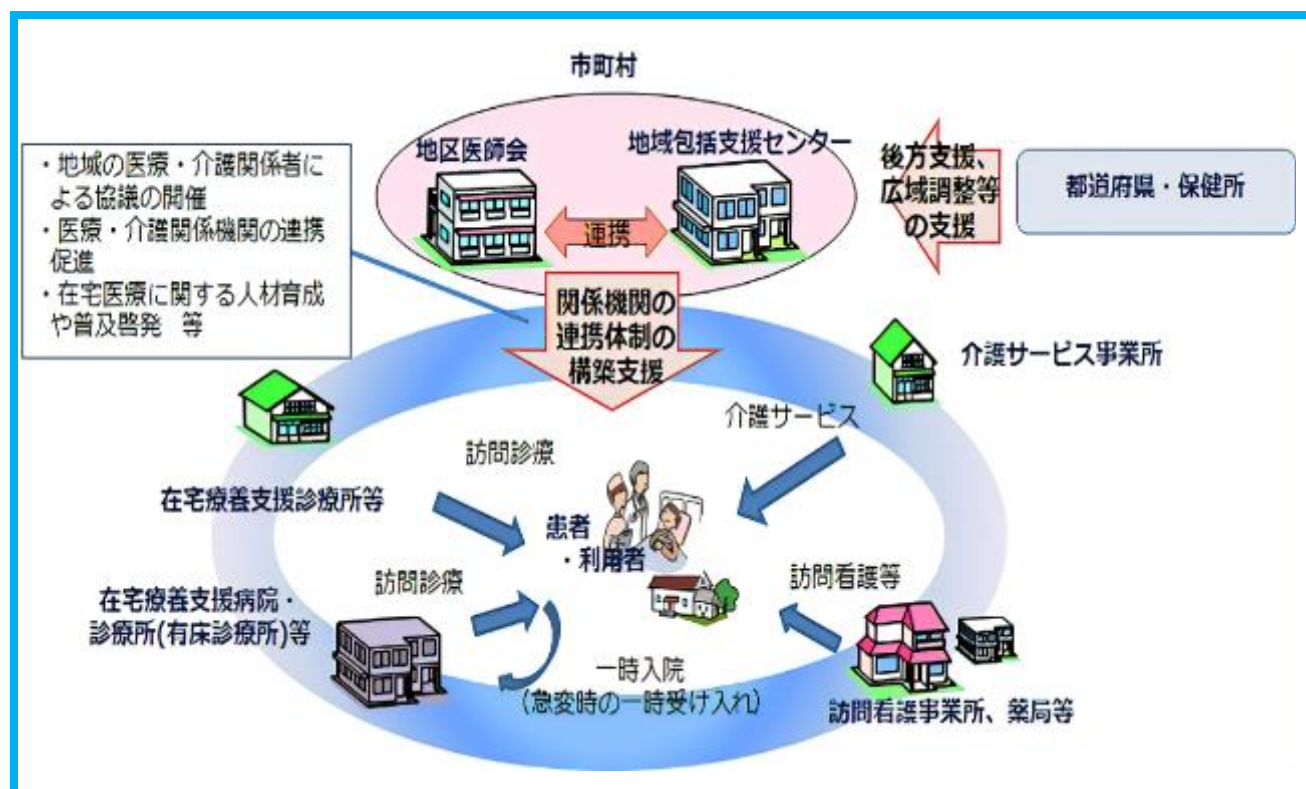
ここに令和6年度生駒郡地域ケア会議の活動報告をとりまとめ、引き続き、医療介護関係者の相互理解や情報の共有を行いながら、患者・住民が医療介護サービスを切れ目なく利用できる取組みを推進し、住み慣れた地域で安心して医療介護支援を受けることができるよう、サービスの質の向上と、住民啓発に努めてまいります。



2. 生駒郡地域ケア会議の役割

生駒郡4町において、行政、医療、介護の関係機関が連携し、次の事業を協働で行っている。

- ① 地域の医療・介護の把握に関する事項
- ② 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討に関する事項
- ③ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進に関する事項
- ④ 医療・介護関係者の情報共有の支援に関する事項
- ⑤ 在宅医療・介護連携に関する相談支援事項
- ⑥ 医療・介護関係者の研修に関する事項
- ⑦ 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携事業
- ⑧ その他在宅医療・地域包括ケアシステムの推進に必要な事項



3. 在宅医療介護連携事業の構成と課題

事業内容は、地域のあるべき姿を意識しながら、地域の実情に応じた取組みとする。また、充実を図りながらPDCAサイクルに沿った取組みを進め、以下の事業を構成し課題を抽出する。

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

<事業> 在宅医療介護資源集の活用・情報更新

成果	課題
・生駒郡在宅医療介護支援マップ作成(H29.3) ・生駒郡在宅医療介護資源集（第1版）作成(H31.3) ・生駒郡在宅医療介護資源集（第2版）作成(R4.4) ・情報更新(R5) ・情報更新(R6)	・紙ベースだと情報の更新に問題がある。 ・費用面や手間などを踏まえ、データ管理が必要。

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討に関する事項

<事業> 医療と介護の連絡シート、在宅医療介護資源集の利用状況調査アンケート 生駒郡内の課題と対応策を地域ケア会議で協議

成果	課題
①アンケート実施 ・医療介護関係者にアンケート実施(H30) ・医療介護関係者にアンケート実施(R1) ・ケアマネジャーにアンケート実施(R6.7) ②地域ケア会議 ・7月と3月に2回開催	①アンケートの結果から、連携の必要性を感じているが、医師とケアマネ間での意思疎通が難しいということから、連携ツールを作成した。今後は運用状況の確認が必要。 ②年に2回の地域ケア会議で基本的な方針を検討しているが、細かな課題解決に向けたコアでの会議の検討が必要。

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援事項

<事業> 西和圏域における入退院調整ルールマニュアル・在宅療養支援室 各町における相談窓口

成果	課題
①入退院調整マニュアル ②西和医療センター在宅支援療養室相談窓口 ③各町担当課・地域包括支援センターでの相談窓口	①西和圏域外での運用状況の違いによる連携の差。 ③コロナ後からの相談業務増加。

(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

<事業> 生駒郡医療と介護の連絡シート活用

成果	課題
生駒郡医療・介護連絡シート作成 ・令和6年度より運用開始 ・R6年7月にケアマネに運用状況アンケート実施	アンケートの結果から、連携の必要性を感じているが、医師とケアマネ間での意思疎通が難しいということから、連携ツールを作成した。今後は運用状況の確認が必要。

(力) 医療・介護関係者の研修に関する事項

<事業> 多職種勉強会の開催

成果	課題
多職種勉強会の開催 (9月・2月の2回開催) 参加対象：医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護、介護支援専門員、介護サービス事業所等	

(キ) 地域住民への普及啓発

<事業> 市民公開講座

成果	課題
意思決定支援の取組みとして人生会議をテーマに各町でシリーズ化しながら、人生会議シリーズ①～④細かいテーマ別に開催した。 元気なうちから自分の人生の将来について整理して周りに伝えておくことの大切さを啓発。	・各町でシリーズ化して行うことができ、「今のうちから準備」することの大切さを啓発。介護はまだ先のこと、と思っている人も多く、元気なうちからの啓発が課題。



4. 令和6年度生駒郡地域ケア会議事業報告

① 地域ケア会議の実施

第1回地域ケア会議

令和6年7月3日（水）14：30～

議題

- 令和6年度生駒郡地域ケア会議事業計画（案）について
- ・地域ケア会議
 - ・多職種勉強会
 - ・市民公開講座
 - ・在宅医療介護資源集
- ・今後の取組みについて

第2回地域ケア会議

令和7年3月24日（月）14：30～

議題

- 令和6年度生駒郡地域ケア会議事業報告について
- ・地域ケア会議
 - ・多職種勉強会
 - ・市民公開講座
 - ・資源集
- 令和7年度生駒郡地域ケア会議事業計画（案）について

② 多職種勉強会の開催

第1回多職種勉強会

日時：令和6年9月19日（木）14：00～16：00

会場：斑鳩町総合保健福祉会館

内容：「地域共生社会における連携の重要性」
～専門職と住民の重層的なネットワークづくり～

講師：社会福祉士 植田 寿之氏

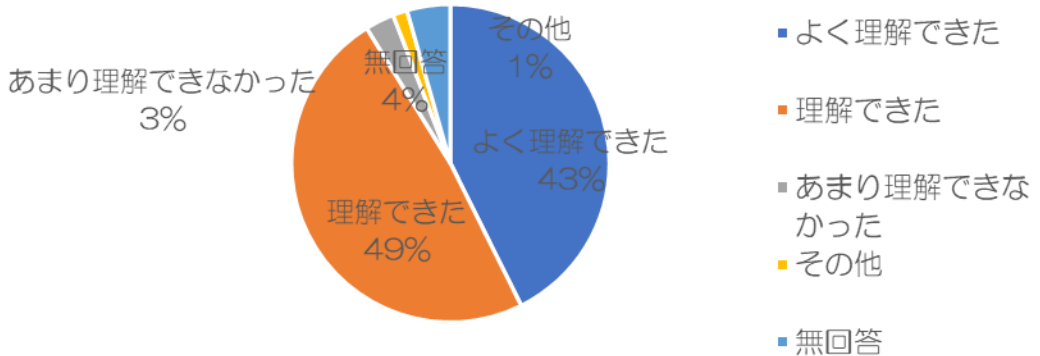
参加者：88名



第1回多職種勉強会 アンケート結果

1. 勉強会に参加して

1 講義について



2. 研修についての感想（抜粋）

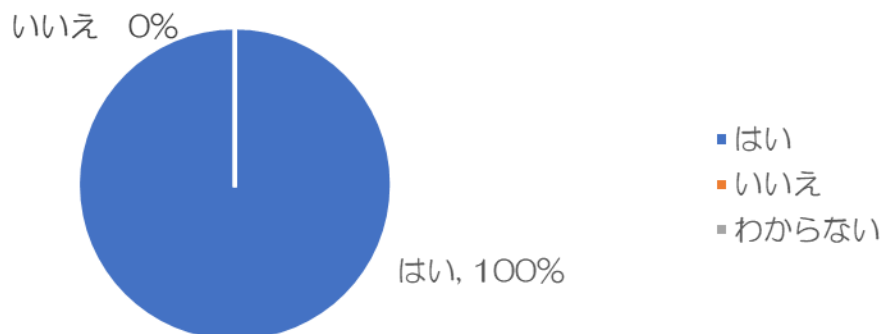
講義について

- ・参加してよかった、支援の仕方や様々な職種の考え方が学べた。
- ・ソーシャルワークは深い、多様性の尊重や無関心など自分の中にも課題がある。
- ・他人事ではない地域づくりに取り組み挑戦し続けるという言葉に前向きになれた。
- ・丸ごと支援の必要な人が多く勉強になった。
- ・住民と専門職をつなぐことも大切。
- ・「伴走型支援」理解できるよう寄り添っていけるよう頑張ろうと思った。
- ・本人中心にそれぞれを理解することが大切だとわかった。
- ・ゆるやかなつながりづくりで支援の輪を広げられるのではと思えた。
- ・ネットワークシステム、ソーシャルワーク支援について知ることができた。
- ・地域性もあり利用へつなげる和をもっと知りたい。
- ・必要性を感じたが、どうするか？の答えがまだ見つからない。
- ・理想と現実は難しく、時間がかかる。業務の中でこなすのが難しい。
- ・自分の仕事の中でうまく結びつかないこともあった。

ワークについて

- ・多職種で意見交換ができればよかった。
- ・自ら考えさせられるワークで勉強になった。
- ・様々な職種の方が、自分の分野のみならず連携の意識をしっかりと持っていることが分かった。

3. 連携の必要性を感じたか（抜粋）



3. 勉強会を今後どのように活かせるか。（抜粋）

- ・職員と考えるきっかけにしたい。
- ・在宅や患者対応に活かしたい。
- ・住民の世間話から困りごとに気づいてみる。
- ・患者だけでなく家族などのやり取りや関わりを持ちたい。
- ・ケアマネに相談してみる。
- ・全体像の理解ができたので、介入のきっかけを考えられるようになった。
- ・ゆるやかに地域づくりのお手伝い。
- ・地域住民との話し合い。専門職だけでなく、地域との関係性を理解した支援。
- ・丸ごと支援で多くの専門職との関わりを持つこと。
- ・自分が住む地域から自分事として捉えてみる。
- ・事業所との関わりを密に。
- ・日頃の考え方に後押しされた感じ。

第2回多職種勉強会

日時：令和7年2月8日（土）14：30～

会場：斑鳩町総合保健福祉会館

内容：「在宅療養を支える医師を含めた多種職種協働・ケアマネジメントのすすめ」

講師：天理よろづ相談所病院

白川分院 在宅世話どりセンター
次橋 幸男 氏

参加者：77名



令和6年度多職種交流会

日時：令和7年2月8日（土）16：30～

会場：斑鳩町総合保健福祉会館

内容：「自分の取扱説明書を作って交流」
グループ毎に交流

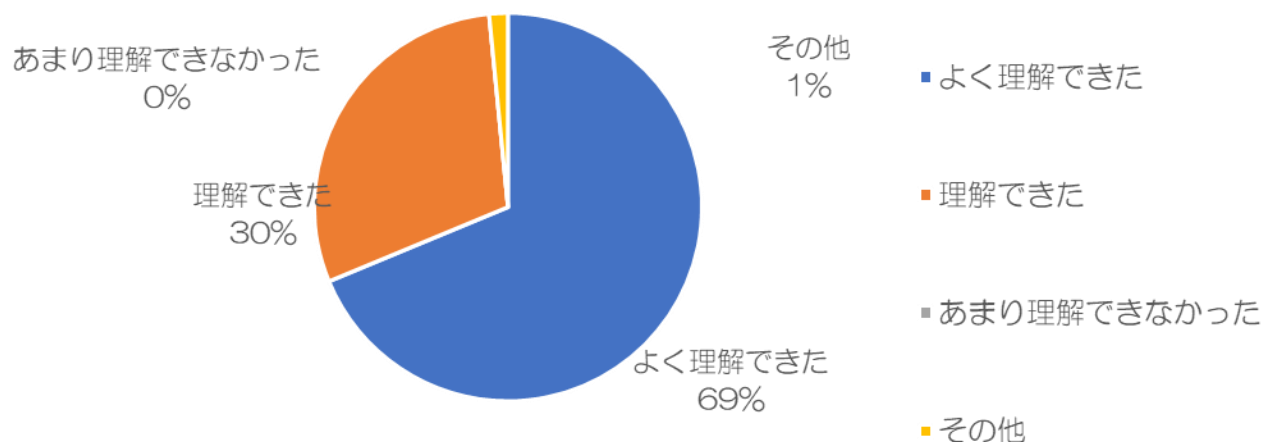
参加者：57名



第2回多職種勉強会 アンケート結果

1. 勉強会に参加して

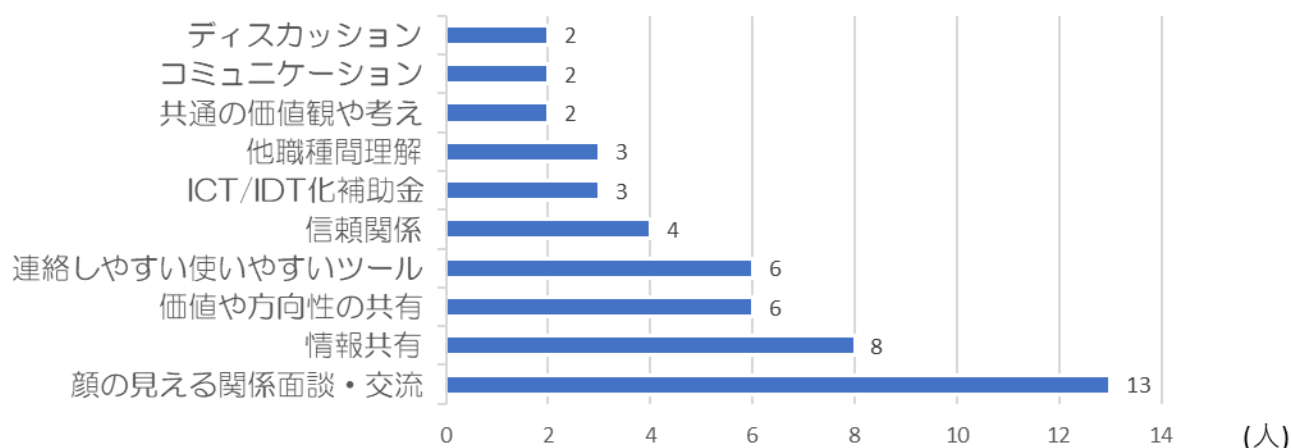
1 講義について



講義について（抜粋）

- ・幅広い視点での講義でためになった。
- ・共通の価値観が大切だとわかった。
- ・他者の価値観をどう共有し、どのような手段をとるのか？
- ・医師からこのような話が聞けてよかった。
- ・価値を共有することの大切さを学んだ。
- ・スマホからアンケート集約を見ることができ、みんな参加できてよかった。
- ・一方通行な知識を受け取る形式とは違い興味深く学ぶことができた。
- ・患者に心通わせ関係者で共有してケアをするという、心温まる元気の出る研修だった。

2. 連携するためには何が必要か。（抜粋）



③ 市民公開講座の開催

生駒郡4町の各町で、「人生会議」をテーマにシリーズ化しながら開催した。

人生会議シリーズ①



【安堵町】

終活を考えるシンポジウム

「終活するうえで大切にしたい自分の思いを一緒に考えてみませんか」

第1部 「肩を寄せあって」上映

語り：浄念寺住職・映画監督 横田 丈実氏

第2部 パネルディスカッション

座長：山内 優美氏（山内醫院）パネラー他

日時：令和6年10月23日（水）

14:00～16:00

場所：安堵町福祉保健センター視聴覚室

参加：69名

人生会議シリーズ②

【斑鳩町】

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために「いつまでも自宅で過ごしたい」を支えます。

講演会 「看取る覚悟・看取られる覚悟 最期を迎える人生会議はじめませんか」

講師：西和往診クリニック 院長 尾崎 誠重氏

日時：令和6年11月12日（火）

13:00～16:30

場所：生き生きプラザ斑鳩 大会議室・会議室・

機能回復訓練コーナー・展示コーナー

参加：60名

イベント：専門職による個別相談、ミニ講座、測定コーナー、電動車椅子の試乗体験・福祉用具の展示等

参加者：延181名



生駒郡地域ケア会議 講演会
人生会議シリーズ①
～終活を考えるシンポジウム～

※終活ノート（自分みらいノート）を無料配布/書き方の説明します。

終活するうえで大切にしたい自分の思いを一緒に考えてみませんか？
「肩を寄せあって」著者 横田 丈実氏と浄念寺住職・映画監督 横田 丈実氏による対談と、自分自身の思いを語り合う機会に恵まれます。

令和6年10月23日（水）
14:00～16:00
場所 安堵町福祉保健センター
2階 視聴覚室

生駒郡にお住まいの方ならどなたでも参加できます！

第1部
語り：横田 丈実氏
浄念寺住職・映画監督
上映：「肩を寄せあって」
所蔵町の住職と映画監督でもある横田氏のドキュメンタリー映画の上映。
「生と死」をテーマに、地域で暮らす人々の思いを語りかけあいます。

第2部
パネルディスカッション
「自分の大切な人生を振り返ったときに、自分の意思をどう周囲に伝えるか」
座長 山内 優美氏（山内醫院院長）
パネリスト
横田 丈実氏（浄念寺住職・映画監督）
森田 唯氏（経営者・安堵町議会議員）
山崎 真季氏（安堵町民生委員協議会会長）
田中 将史氏（老人福祉施設職員・社会福祉士）
下城 明子氏（おむろ終活相談士・シンポジウム司会）
ゲスト
西本 史博氏（安堵町長）

お問い合わせ
安堵町健康福祉推進室 0743-57-1590
安堵町地域包括支援センター 0743-57-2528
〒639-1061 安堵町大字東安堵853番地

申し込み
QRコードもしくは
裏面のFAXから

令和6年度 生駒郡地域ケア会議 人生会議シリーズ②

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために
「いつまでも自宅で過ごしたい」を支えます

日時：令和6年11月12日（火）午後1時～4時30分
場所：生き生きプラザ斑鳩 大会議室・会議室・機能回復訓練コーナー
参加費：無料

【講演】
看取る覚悟・看取られる覚悟
最期を迎える人生会議はじめませんか。
時間：午後1時30分～2時30分
場所：2階 大会議室
定員：50名（先着順）※11月1日より申込受付
講師：（医）西和 西和往診クリニック
院長 尾崎 誠重

【福祉用具展示・体験コーナー】
歩行器や手すりなど見た目のほか、体験ができます。福祉用具コーディネーターが相談にのびます。
時間：午後1時～4時30分
場所：機能回復訓練コーナー

【ミニ講座】
薬剤師・歯科衛生士等によるワンポイント講座です。（詳しくは裏面参照）
時間：午後2時～4時25分
場所：機能回復訓練コーナー

【体験・測定コーナー】
握力や口舌乾燥チェック、認知チェック等、測定してみませんか？
時間：午後1時～4時30分
場所：機能回復訓練コーナー

【個別相談コーナー】
介護支援専門員・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士が相談に応じます。
時間：午後1時～4時30分
場所：機能回復訓練コーナー

申し込み・問い合わせ
斑鳩町地域包括支援センター 電話 0745-75-4000・74-5666

人生会議シリーズ③

【三郷町】

「医療や介護、財産の管理、葬儀からお墓の事など多岐にわたり、何から始めて良いかわからない方へ早めに準備をしておく第一歩を踏み出すヒントをお伝えします。」

「今から始めよう！終活の第一歩」

講師：かわさきFP・司法書士事務所
川崎信吾氏

日時：令和6年12月16日（月）
13:30～15:00

場所：図書館視聴覚室

参加者：107名



人生会議シリーズ④

【平群町】

「そろそろ人生会議、開きませんか？～自分で決める！みんなで共有～」

講師：大阪歯科大学 看護学部助教 肥後加苗氏

日時：令和7年2月3日（月）13:30～15:30

場所：平群町総合文化センター くまがしホール

参加者：98名【内、三郷町民11名、斑鳩町民4名、安堵町民3名】



生駒郡地域ケア会議 講演会

人生会議シリーズ③

先着
100名

『今から始めよう！

「終活」の第一歩』

日時：令和6年12月16日 月曜日

13:30～15:00

場所：三郷町立図書館 視聴覚室

定員：100名（先着順）

講師：かわさきFP・司法書士事務所

司法書士・ファイナンシャルプランナー

川崎 信吾 氏

概要：

「終活」という言葉もずいぶん定着しましたが、医療や介護、財産の整理、葬儀やお墓のことなど多岐にわたり、何から始めれば良いのかわからない方も多いのではないのでしょうか？
大事なことは早めに準備しておくこと。その第一歩を踏み出すヒントをお伝えします。

お問い合わせ…

三郷町地域包括支援センター ☎0745-34-0035

生駒郡地域ケア会議 講演会

人生会議シリーズ④

～そろそろ人生会議、開いてみませんか！～

参加無料

とき 2月3日（月） 13:30～15:30

ところ 平群町総合文化センター
くまがしホール

定員 先着 150名

講師 大阪歯科大学 看護学部 助教
肥後 加苗 氏

テーマ

「人生会議」について学び、「終活」において大切にしたい自分の思いを一緒に考えてみましょう。

私の遺願はどうなるのだろう

痛いのは嫌だなあ

誰に相談すればいいのだろう

私が先、主人が後？絶対無理ム！

子どもには世話をかけたくないの

延命も要らないわ

人生会議とは

もしもの時のために、あなたが望む医療や介護について前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

お申込み

令和7年1月7日（火）～

平群町地域包括支援センターへ

☎ 0745-45-7012

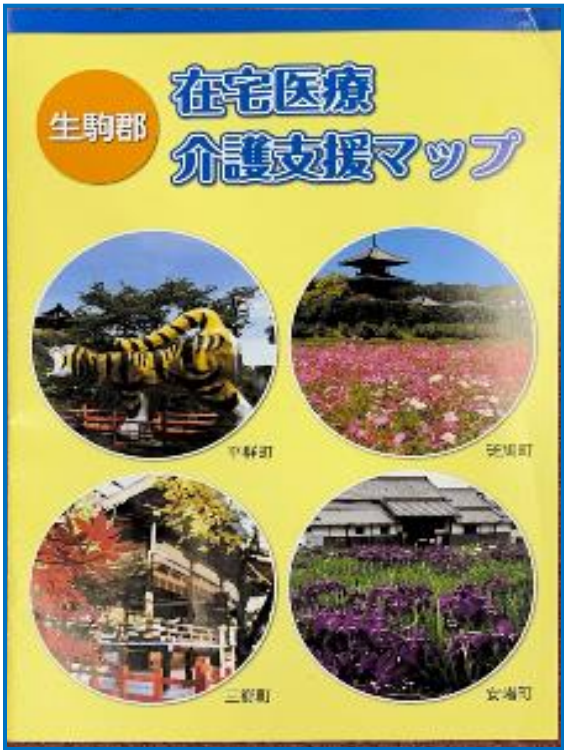
FAX 0745-43-5509

⑤ 在宅医療介護資源集

平成29年3月に「在宅医療介護支援マップ」を作成、その後も「平成31年3月」を作成して、在宅医療介護に関わる専門職への情報共有の支援を行っている。

在宅療養資源集(第1版)

在宅療養支援マップ



在宅療養資源集(第2版)

資源集部会

作成については、「資源集部会」を立ち上げ、情報の更新や、会議を重ねながら作成している。

⑥ 生駒郡医療と介護連絡シート

医療介護関係者の情報共有の支援を目的に、かかりつけ医とケアマネジャーとの連絡のツールとして、令和5年度に作成に取り掛かり、令和6年度より運用開始した。

ケアマネジャーが利用者の主治医を対象に連携を取る手段の一つとして活用する。利用者の介護保険サービス計画書を立てる担当者だということをかかりつけ医に伝えるとともに、相談や依頼、医学的意見や診療情報の希望があるときに使用する。

令和 年 月 日

生駒郡4町 医療と介護の連絡シート

医療機関名
所在地
電話
FAX
医師氏名

介護事業所名
所在地
電話
FAX
ケアマネジャー氏名

◆ 利用者の情報

患者番号
(診療時)

イニシャル
様

生年月日
M・D・S 年 月 日

要介護度: 要支援 1・2 要介護 1・2・3・4・5 申請中 (新規・更新・区分変更)

◆ ケアマネジャー → 医師

上記利用者様より、ケアプランの作成依頼を受けましたので、契約時の同意に基づき送付しております。

【主旨】 ☐ 初回のご挨拶 ☐ 利用状況の報告 ☐ 相談

<内容>

介護サービスの利用状況 ※記入は必須ではありません。

☐ 訪問介護 回/月 (曜日)

☐ 訪問入浴 回/月 (曜日)

☐ 通所介護 回/月 (曜日)

☐ 短期入所(生活) 日/月

☐ 福祉用具貸与 品目:

☐ 訪問看護 回/月 (曜日)

☐ 訪問リハビリ 回/月 (曜日)

☐ 通所リハビリ 回/月 (曜日)

☐ 短期入所(療養) 日/月

☐ 居宅療養管理指導

上記について ☐ 返信願います ☐ 返信不要です

◆ 医師 → ケアマネジャー

☐ 直接会って話します 日時: 月 日 時間にお越しください

☐ 電話で話します 日時: 月 日 時間に連絡ください

☐ 連絡事項等について了承しました ☐ 下記の通りです

伝達事項など

年 月 日

生駒郡地域ケア協議作成 2024.4.1

生駒郡4町 医療と介護の連絡シートの活用にあたって

この連絡シートは、ケアマネジャーの皆さんとかかりつけ医の先生方との円滑な連携を図ることを目的とした、ひとつの連絡ツールです。医療と介護の情報を互いに共有しあうことで、ケアマネジャーと医師が連携して利用者の地域での暮らしを支えていくことのひとつとなれば幸いです。連携の形はさまざまです。すでに効果的な連携の形を構築されている方々もおられると思いますので、このシートは数ある手段のひとつとしてご活用ください。

◆ 注 意

ケアマネジャーとかかりつけ医が必要な情報を相互に提供しあう共有することで、医療と介護の連携をより円滑なものとし、在宅の要支援・要介護状態の利用者への効果的な支援を図るための一助とします。

◆ 利用対象

利用者の担当ケアマネジャー及び主治医を対象にしたものです。主治医とは介護保険の意見書作成に限らず、当該利用者の療養目的において最も連携提供が望ましいと思われる医師を含みます。またケアマネジャーとは、居宅介護支援事業所や施設における介護サービスの計画作成者となります。

◆ ご利用前に

「医療と介護の連絡シート」
ケアマネジャーから医師に申し、相談・依頼・医学的意見や診療情報の希望があるときに使用します。

注意事項

※利用にあたっては「個人情報の保護に関する法律」が医療・介護関係事業者における個人情報保護の適切な取扱いのためのガイドラインを遵守し、原則10分ご返答ください。

【ケアマネジャーの皆様へ】

◆ ご利用の前に

(1) 医療機関への連絡手段の一つとして、このシートを使用できるのは介護保険事業所においては居宅介護支援事業所のケアマネジャーのみとなっています。

(2) 主治医から受け取った情報の取り扱いには十分注意し、ファックス・複写・複製・他機関へ配布することはいけません。

(3) 以下のようなケースでは、事前に連絡して了解を得るか、医療機関の相談室・地域連携室のソーシャルワーカー・事務員等の窓口を通して依頼するなどの配慮をしてください。

① 主治医意見書の記載をしているが、通常の診療を定期的に行っていない医師

② 不定期、もしくは療養に不安定な患者を診察している医師

③ 要介護・要支援認定の原因となる主病を診察していない医師

④ 救急等で一時的に診察した医師や、かかりつけが変更した直後の医師

⑤ その他特異な事情のある場合



5. 令和7年度生駒郡地域ケア会議事業計画（案）

令和7年度 生駒郡地域ケア会議 事業計画（案）

令和7年3月24日

（在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討に関する事項）

○医療と介護の連絡シート、在宅医療介護資源集の利用状況調査アンケート実施

○生駒郡内における在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策について、地域ケア会議で協議

（6月・3月の2回開催予定）

（医療・介護関係者の研修に関する事項）

○多職種勉強会の開催

（9月・2月の2回開催予定）

対象：医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、介護支援専門員、介護サービス事業所

（地域の医療・介護の資源の把握）

○在宅医療介護資源集の活用・情報更新

○在宅医療介護資源集のHPによるデータ更新

（切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進に関する事項）

（在宅医療・介護連携に関する相談支援事項）

（医療・介護関係者の情報共有の支援に関する事項）

○医療と介護の連絡シート

○西和地域7町で西和メディケアフォーラム開催

○西和地域7町における入退院連携マニュアルの運用

○西和医療センター 在宅療養支援室との連携

○ロジックモデルの活用

○住み慣れた地域で暮らすためのガイドブックの配布

（地域住民への普及啓発に関する事項）

○各町で連携した取り組み

1. 令和6年度 生駒郡地域ケア会議報告

令和6年度 生駒郡地域ケア会議 事業報告															
(令和7年3月24日現在)											資料1				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
地域ケア会議	地域ケア会議委員の推薦依頼 ・医師会・歯科医師会 ・薬剤師会・訪問看護協会 ・保健所・生駒郡4町 ・4町代表介護支援専門員	4/19(水) 地域ケア会議事前打ち 合わせ 4町包括	5/27(月) 地域ケア会議事前打ち 合わせ 4町包括	6/7(金) 地域ケア会議事前打ち 合わせ 4町包括	8/2(金) 多職種勉強会事前打ち 合わせ 4町包括	10/2(水) 多職種・交流会事前打ち 合わせ 4町包括	10/28(月) 多職種・交流会事前打ち 合わせ 4町包括	11/21(木) 多職種・交流会事前打ち 合わせ 4町包括	1/16(木) 多職種・交流会事前打ち 合わせ 4町包括		第2回地域ケア会議 日時:3/24(月)14:30～ 会場:斑鳩町総合保健福祉会館 ①事業報告について ・地域ケア会議・多職種勉強会 ・市民公開講座・資源集 ②令和7年度事業計画(案) ③その他				
多職種勉強会		7/10(水) 9:30～ 第1回多職種勉強会の内容と日程につ いて、講師予定者と4町包括打ち合わせ		第1回多職種勉強会 日時:9/19(木)14:00～16:00 会場:斑鳩町総合保健福祉会館 内容:「地域共生社会における連携の重要性」 ～専門職と住民の重層的なネットワークづくり～ 講師:社会福祉士 榎田 寿之氏 参加者:88名						第2回多職種勉強会 日時:2/8(土)14:30～ 会場:斑鳩町総合保健福祉会館 内容:「在宅療養を支える医師を含めた多職種 職種協働・ケアマネジメントのすすめ」 講師:天理よろづ相談所病院 白川分理 在宅世話ドレセンター 次橋 幸男 氏 参加:77名 交流会 16時30分 会場:斑鳩町総合保健福祉会館 参加者:57名					
在宅医療介護資源集	4町企画出張講座 市民公開講座	【安堵町】人生会議シリーズ① 終活を考えるシンポジウム 内容:終活を考えるシンポジウム 終活するうえで大切にしたい自分の思いを一緒に 考えてみませんか 第1部「肩を寄せて」上映 語り:浄念寺住職・映画監督 横田 文実氏 第2部:パネルディスカッション 座長:山内 優美氏 (山内醫院 院長) ハナロー他 日時:10月23日(水)14:00～16:00 場所:安堵町福祉保健センター視聴覚室 参加者:69名		【斑鳩町】人生会議シリーズ② 内容:住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために 「いつまでも自宅で過ごしたい」を支えます。 講演会「看取る覚悟・看取られる覚悟 最期を 迎える人生会議はじめませんか。」 講師:西和住診クリニック院長 尾崎 誠重氏 日時:11月12日(火)13:00～16:30 場所:生き生きプラザ斑鳩 大会議室・会議室・機能 回復訓練コーナー・展示コーナー 参加者:60名 イベント:専門職による個別相談、ミニ講座、測定コーナー、 電動車椅子の試乗体験・福祉用具の展示等 参加者:延181名		【三郷町】人生会議シリーズ③ 「今から始めよう! 終活の第一歩」 講師 かわさきFP・司法書士事務所 川崎信吾氏 日 時: 令和6年12月16日(月)13:30～15:00 場 所: 三郷町図書館視聴覚室 参加者:107名		【平群町】人生会議シリーズ④ 内容:「そろそろ人生会議、開きませんか?～自分 で決める! みんなで共有～」 講師:大阪歯科大学 看護学部助教 肥後加苗氏 日時:2月3日(月)13:30～15:30 場所:平群町総合文化センター くまがしホール 参加者:98名 (内、三郷町民11名、斑鳩町民4名、安堵町民3名)		資源集部会会議 8/26(金)13時30分生き生きプラザ斑鳩 ・現状確認と今後の方針について(見直し・次回発行に向けて)		資源集部会打ち合わせ ・更新情報の配布について		資源集部会 1月 更新情報の発信	

参考資料

3. 生駒郡地域ケア会議委員名簿

所 属		役 職	氏 名
平群町	住民福祉部	部長	松本 光弘
	福祉課	課長	浅井 実千代
	地域包括支援センター	所長	秋葉 敦子
三郷町	住民福祉部	部長	辰巳 政行
	住民福祉部	次長 兼	山口 雅史
	長寿介護課	課長 兼	
	地域包括支援センター	センター長	
	地域包括支援センター	課長補佐	高塚 美和
斑鳩町	福祉課	課長	中原 潤
	地域包括支援センター	管理者	羽根田 久枝
安堵町	住民生活部	部長	吉田 一弘
	健康福祉推進室	課長	井上 育久
	地域包括支援センター	センター長	可児 三実
奈良県郡山保健所	郡山保健所 健康増進課	課長	三原 文子
生駒郡歯科医師会	平群町歯科医師会 (小向井歯科クリニック)	会長	小向井 英記
奈良県薬剤師会	西和地区薬剤師会 (フジ薬局)	理事	富士 仁見
奈良県訪問看護 ステーション協議会	訪問看護ステーションくるみ	管理者	杉本 真穂
介護支援専門員	老人保健施設悠々の郷 (平群)	主任介護支援専門員	吉浦 尊子
	(医)紀川会居宅介護支援 事業所(三郷)	主任介護支援専門員	山中 淳子
	ケアプランセンターうら らか(斑鳩)	主任介護支援専門員	島 有子
	ツツミ介護支援事務所 (安堵)	主任介護支援専門員	城野 貴至
生駒地区医師会		会長	有山 武志
		副会長	尾崎 誠重
		副会長	山内 優美
		斑鳩町・安堵町自 治体代表	近森 康宏
		三郷町自治体代表	紀川 伊克
		平群町自治体代表	松井 一哲